

BUSINESS REPORT

株主の皆様へ



三井金属

証券コード:5706

Vol.6

特集: **新中期経営計画**

「19中計」



2019

春夏号

第94期報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

Special Feature

特集:新中期経営計画「19中計」

創業150周年にあたる2024年のありたい姿「機能材料、金属、自動車部品の3事業を核に、成長商品・事業を継続的に創出し、価値を拡大し続けている会社」の実現のため、成長基盤の変革を目指し、13、16中計に続く19中計を策定しました。19中計では、「2024年のありたい姿を実現する成長基盤の変革」をスローガンとして掲げ、「13、16中計の収穫」「19中計での成長戦略の実行」「変革を促す将来への布石」を実行していきます。

ありたい姿を実現するための19中計の位置づけ



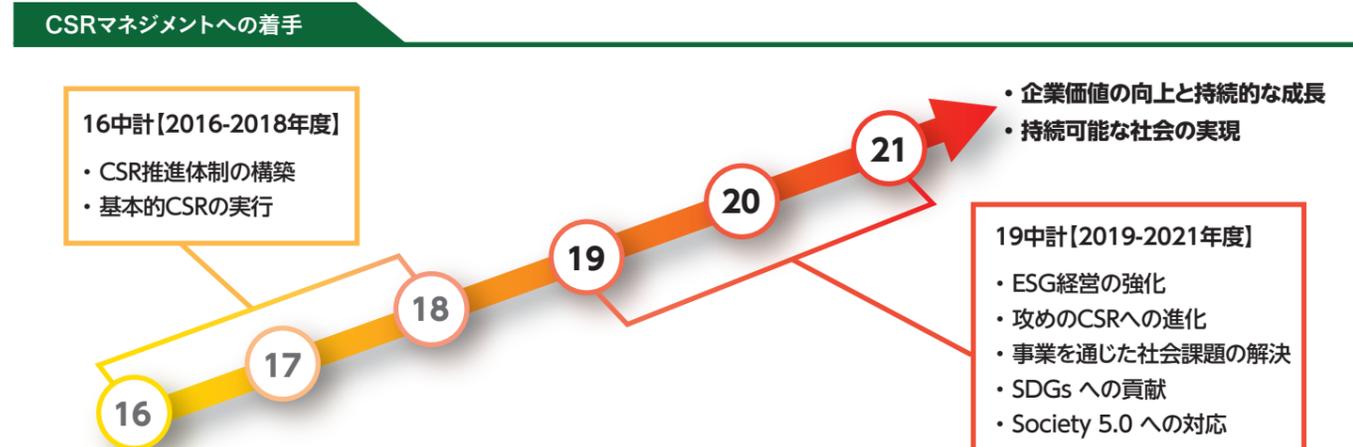
19中計の目標

変革を促す「将来への布石」を打ち、成長戦略の実行を推進することで、経営目標の達成を目指します。

経営目標	2018年度実績	2021年度目標
経常利益	177億円	370億円
自己資本比率	32.5%	40%
ROE	2.8%	10%

19中計:サステナビリティの取り組み

16中計で構築したCSR活動推進の基盤をもとに、19中計では、企業価値の向上・持続的成長ならびに持続可能な社会の実現に向け、ESG経営の強化、事業を通じた社会課題の解決等にも取り組みます。



19中計:事業部門の基本戦略と主な取り組み

19中計では、機能材料、金属、自動車部品の事業ごとに基本戦略を定め、成長商品・事業の継続的な創出のための取り組みを推進します。その基盤となる設備投資においては、3年間合計で1,050億円を計画しており、機能材料セグメントを中心に成長戦略に550億円を投じ、研究開発費は16中計と比べ37%増加させ、特に機能材料事業では40%の増加を計画しています。

機能材料セグメント

19中計基本戦略 市場共創型の事業体を実現するために「成長基盤の変革」を行う

- 新規事業創出のための取り組み
- 更なる成長のための仕組み作り

事業	19中計の主な取り組み
機能性粉体	<ul style="list-style-type: none"> 5G関連製品の拡販 研磨材事業の拡大
触媒	<ul style="list-style-type: none"> 二輪車向けシェア維持 四輪車向け拡販および技術開発強化
銅箔	<ul style="list-style-type: none"> 5G関連製品の拡販 マザーボードおよび非スマホパッケージ基板向けMicroThin™の拡販
薄膜材料	<ul style="list-style-type: none"> ITO、IGZOの競争力向上およびシェア拡大



機能性粉体の製品群



高周波基板用電解銅箔 (5G関連製品)

金属セグメント

19中計基本戦略 2024年のありたい姿に向けて、リサイクル製錬の深化および安定操業による収益確保のための取り組みを行う

事業	19中計の主な取り組み
金属	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル原料増処理 製錬プロセス技術開発 PGM※回収技術の効率化
銅事業統括	<ul style="list-style-type: none"> カセロネス銅鉱山の更なる操業改善に向けたサポート



リサイクル原料の廃基板



リサイクル製錬された電気鉛

自動車部品セグメント

19中計基本戦略 品質とコスト競争力の持続的な強化による利益率向上と、戦略的大型受注による拡販の実現により、将来の成長につなげる

事業	19中計の主な取り組み
三井金属アクト	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的大型受注 (拡販) → 2022年以降の受注確保 営業/開発一体活動による設計品質強化 モビリティの電動化・自動化に応じた製品開発 欧州ビジネス拡大。モロッコ拠点立上げ (2020年1月予定) コスト競争力強化 → 19中計の達成・2022年以降の土台作り ICTによる生産改善強化



品質改善の取り組み



パワースライドドアドライブユニット

※ PGM: 排ガス浄化触媒等の材料として利用される白金、パラジウム、ロジウム等の貴金属。

SDGsへの貢献

三井金属グループが培ってきた「マテリアルの知恵」と事業それぞれの強みを活かし、社会的課題の解決に貢献していきます。

19中計の事業戦略

【機能材料】

- 電子材料用機能性粉体事業の拡大
- 四輪車向け触媒事業の拡大
- 銅箔5G関連製品の拡販
- 次世代製品開発

【金属】

- リサイクル原料増処理と操業安定化

【自動車部品】

- ドアロック製品の開発・受注
- スマートファクトリー推進

8 環境目標を達成させる

事業それぞれの持続性を追い求め、イノベーションの創造、雇用の創出、そして世の中の経済成長の一端を担っていきます。経済成長と環境保全の両立、安全・安心な労働環境の促進に取り組んでいきます。

9 環境と社会課題の両立を目指す

環境貢献へとつながる素材、モビリティやエレクトロニクス産業の発展に応える製品の開発、供給に注力していきます。世の中の産業の発展のために、非鉄素材を知る私たちだからこそできることを考えています。

12 つくる責任 つかう責任

それぞれの事業における製品化率の向上、採取率の改善に努め、非鉄製錬事業におけるリサイクル製錬を引き続き推進し、資源の持続可能な利用に貢献します。化学物質の管理の徹底、廃棄物の排出削減を進めます。

13 気候変動に具体的な対策を

エネルギー多消費型の事業を有しているからこそ、省エネルギー、温暖化ガスの排出削減の取り組みを強化していきます。バリューチェーンでの管理へと進め、気候変動への緩和策、適応策の実施へとつなげていきます。



代表取締役社長
にしだ けいじ
西田 計治

Q1 当期(2018年度)と「16中計」の総括をお願いいたします。

三井金属グループの2018年度実績は、表1のとおりとなり、2018年5月公表の業績予想の経常利益410億円と比べると233億円の未達となっています。未達の原因としては次の二つが挙げられます。一つは、スマホのマザーボード基板に2017年から採用されたキャリア付極薄銅箔(MicroThin™)の販売がスマホ需要の減退により当初見込みより大幅に減少したこと、もう一つは、昨年7月以降の非鉄金属価格の下落によりた卸資産の在庫評価変動が大きくマイナスになったことです。

16中計は、最終年度である2018年度に経常利益350億円を目標としてスタートしました。結果としては、キャリア付極薄銅箔(MicroThin™)の市場拡大をはじめとしたプラス要因がある一方で、金属事業における買値条件の悪化やリサイクル原料処理による操業度の低下などにより、数値目標は未達となりました。課題が明確になった部分もある一方で、19中計に繰り越した案件も多いと認識しています。特にカセロネ銅鉱山については、2017年度に4回目となる346億円の減損損失を計上しました。更なる操業改善の必要があると認識しています。

表1 2018年度実績

	2018年度 実績	前期比	
		金額	増減率
売上高	4,977億円	△215億円	△4.1%
営業利益	182億円	△313億円	△63.2%
経常利益	177億円	65億円	58.0%

Q2 「16中計」を踏まえた次期中期経営計画「19中計」の中長期的展望について教えてください。

19中計では、16中計で設定した「機能材料、金属、自動車部品の3事業を核に、成長商品・事業を継続的に創出し、価値を拡大し続けている会社」を引き続き2024年のありたい姿としています。

ありたい姿を実現する成長基盤の変革を目指し、13、16中計で実行した取り組みの成果を確実に刈り取り収益貢献へつなげること、19中計の成長戦略を確実に実行すること、成長基盤の変革を促すために2024年以降も見据えた「将来への布石」を実行することとしています。

・機能材料部門

機能材料事業においては、キャリア付極薄銅箔(MicroThin™)の5G*1関連市場などへの拡販、新規のお客様の開拓などによる拡販を実施してまいります。また、排ガス浄化触媒では、16中計で戦力化した四輪車向け触媒を拡販してまいります。



排ガス浄化触媒

・金属部門

金属事業においては、リサイクル原料の増処理とともに安定操業を実現いたします。また、カセロネ銅鉱山の更なる操業改善に向けたサポートを継続してまいります。

・自動車部品部門

自動車部品事業においては、中国の自動車市場の急激な変化により19中計スタート段階で大きな落ち込みを想定して

「19中計」の施策を確実に遂行し目標を達成することで、2024年のありたい姿の実現を目指します。

りますが、コスト競争力の強化継続により更なる収益改善を実現するとともに、開発力の強化により2022年度以降の新規受注の獲得を目指します。



自動車用ドアラッチ

変革を促す「将来への布石」として、引き続き働き方改革に取り組むとともに、デジタルトランスフォーメーション*2を意識したICT(Information and Communication Technology)改革を実行してまいります。ICT改革については、来るべきSociety 5.0*3を見据え、基幹システムの統一やインフラ、セキュリティの強化を実現いたします。

各事業セグメントの取り組みを確実に実施することにより、19中計最終年度となる2021年度の経常利益370億円、自己資本比率40%、ROE10%を経営目標とし、その達成を目指します。

(詳しくは特集:新中期経営計画「19中計」をご覧ください)

Q3 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

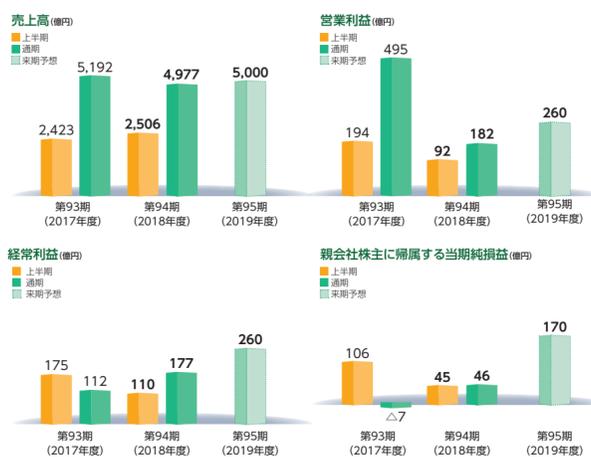
これまで同様、「マテリアルの知恵を活かす」というコーポレートスローガンのもと、当社独自の技術や経験を活かすことで、継続的に新たな成長商品・事業の創出を実現し、「社会的持続的な成長」と「中長期的な企業価値の向上」へ努めていきたいと考えています。また配当による株主の皆様への還元としては、連結配当性向20%を目途とする一方、継続的かつ安定的な配当を行うこととし、DOE(連結株主資本配当率)2.5%を目途に配当する方針です。

これからも株主の皆様をはじめとするステークホルダーの方々から共感を持っていただける企業であり続けたいと考えています。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*1 5G:第5世代の通信方式であり、大容量、高速通信が可能となる。日本での本格的サービス開始は、2020年以降の予定。
*2 デジタルトランスフォーメーション:デジタルテクノロジーを駆使して、経営の在り方やビジネスプロセスを再構築すること。
*3 Society 5.0:内閣府の第5期科学技術基本計画において日本が目指すべき未来社会の姿として提唱されたもの。サイバー(仮想)空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。

Financial Highlights

財務ハイライト(第94期)



セグメント別業績の概況

機能材料	金属	自動車部品	関連
売上高 1,654億円 (前期比1.0%減)	売上高 1,666億円 (前期比10.7%増)	売上高 1,040億円 (前期比1.9%増)	売上高 1,269億円 (前期比4.4%減)
経常利益 166億円 (前期比45.7%減)	経常利益 △60億円 (前期は55億円の経常利益)	経常利益 46億円 (前期比15.0%減)	経常利益 48億円 (前期比28.6%減)
29.4%	29.6%	18.5%	22.5%

*各セグメントの売上高および営業利益/経常利益はセグメント間の内部売上高または振替高を含んでいます。
*来期予想につきましては、2019年5月9日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

中国拠点紹介



三井金属グループでは、機能材料、金属、自動車部品など複数の事業分野において、グローバルに事業を展開しております。前回に引き続き、中国の事業拠点の一部をご紹介します。

機能材料事業

三井金属(珠海)環境技術有限公司



排ガス浄化触媒工場の様子

三井金属(珠海)環境技術有限公司は、二輪車および四輪車向けの排ガス浄化触媒*を製造する中国拠点です。二輪車向け排ガス浄化触媒は、研究開発から製造まで一貫した生産体制を持つことで年々厳しくなっている環境規制へもいち早く対応できています。塗布する貴金属の種類や量が性能と価格を左右するため、車種ごとに配合する貴金属の比率を細やかに調整し、安価でありながら高い性能を引き出すことでお客様から高く評価されています。

ここ数年は、四輪車向け排ガス浄化触媒にも進出し順調に販売量を伸ばしています。これからも、自動車等の排出ガスを無害化する商品によって地球環境の保護に貢献していきます。

*排ガス浄化触媒:白金、パラジウム、ロジウム等の貴金属を用いて、自動車等の排出ガスに含まれる有害な物質を化学反応により無害化する製品。

触媒事業によって地球環境の保護に貢献する



董事 兼 総経理
小林 大作
(こばやし だいさく)

自動車部品事業

広東三井汽车配件有限公司



作業工程ごとのリードタイムを確認している様子。削減目標を掲げ、全社で作業効率の向上を常に意識しています。

広東三井汽车配件有限公司は、三井金属アクトの子会社で中国における自動車部品事業の主力工場の1つとして、ドアラッチ、パワースライドアシスト*などのドア周りを中心とした部品の製造を行っています。主力のサイドアタッチを中心に数百種類に及ぶ製品を製造し、お客様の個別の要求に応えています。また、部品の内製・現地調達化や製造ラインの自動化等の設備投資を積極的に進め、低コストで高品質な製品作りにより競争力の強化を図っており、工場内の評価試験設備で様々な信頼性試験を行うことで徹底した品質管理にも拘っています。

広東三井汽车配件有限公司は、拡大が見込まれる中国自動車市場で、地産地消型の工場として拡販に取り組んでいきます。

*パワースライドアシスト:運転席のスイッチやドアハンドル操作により自動でスライドドアが開閉するシステム。



董事 兼 総経理
橋田 博文
(きつた ひろふみ)

地産地消により競争力のある自動車部品工場を目指す

金属事業

上海三井鑫云貴稀金属循環利用有限公司



営業のみなさん。リサイクル原料を確保するため、営業に力を入れています。

上海三井鑫云貴稀金属循環利用有限公司は、中国で数々の金属リサイクル会社として、廃電子基板やめっき屑などから金・銀・銅などの有価金属を回収しています。湿式処理*1と乾式処理*2の両工程を持つことで、原料の形状や種類に幅広く対応し、効率のよい貴金属回収を実現しています。また、環境基準や各種許認可など規制の厳しい中国のリサイクル業界においてお客様の信頼を得ている

ことも強みです。最近では、電子機器メーカー等で製造工程中に発生したスクラップを再資源化するという、新しい市場の開拓や地道な製造コストの見直し等によって、安定的に収益を上げられる事業体質への転換を図っています。三井金属の製錬ネットワーク*3で培った技術力で、資源循環型社会の形成と環境保全に貢献しながら、収益拡大を目指していきます。

*1 湿式処理:原料を薬液に溶かし化学反応等を利用して金属を回収する工程。
*2 乾式処理:原料を高温の炉で溶かし、溶けた状態で金属を分離し金属を回収する工程。
*3 製錬ネットワーク:三井金属グループが保有する日本国内の6製錬所が持つそれぞれの設備・技術を相互補完する体制。



董事 兼 総経理
大西 基亮
(おおにし もとあつ)

貴金属の再資源化で循環型社会の形成に貢献

回答者の中から
抽選で100名様に
QUOカード(1,000円分)
プレゼント

株主様アンケートのお願い



●締め切り
2019年7月31日(水)

株主の皆様からのご意見やご要望を今後のIR活動に活かすとともに「BUSINESS REPORT」紙面の充実を図るため、株主様アンケートを実施させていただきます。お手数ではございますが、アンケートにご協力いただき、皆様のご意見をお寄せください。回答は、同封のハガキに記入のうえ、最寄りのポストへご投函くださいますようお願いいたします。誠に勝手ながら締め切りを2019年7月31日(水)とさせていただきます。また、アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で100名様にQUOカード(1,000円分)をプレゼントいたします。なお、発表は発送をもって代えさせていただきます。

OUTLINE

→ 会社概要 (2019年3月31日現在)

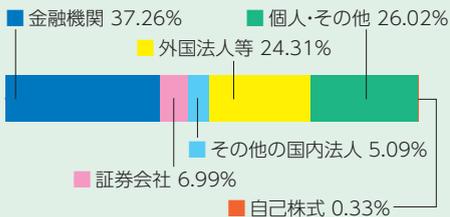
商号 三井金属鉱業株式会社
(Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd.)
【呼称:三井金属/MITSUI KINZOKU】

本店 東京都品川区大崎一丁目11番1号
設立 1950年5月1日
資本金 42,129百万円

→ 株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 / 190,000,000株
発行済株式総数 / 57,296,616株
株主数 / 36,706名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,747	10.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,678	9.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,138	3.74
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,390	2.43
JP MORGAN CHASE BANK 385635	1,067	1.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,046	1.83
三井金属社員持株会	1,005	1.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	926	1.62
JP MORGAN CHASE BANK 385151	848	1.48
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	732	1.28

※持株比率は自己株式(189,741株)を控除して計算しております。
※持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

→ 株主メモ

定時株主総会の議決権の基準日 3月31日
期末配当の基準日 3月31日
中間配当の基準日 9月30日
定時株主総会 6月下旬

株主名簿管理人・特別口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031

公告の方法

電子公告とする。(https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/)
ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

〈株式事務のお取扱い〉

- 未払配当金の支払いのお申し出先
左記三井住友信託銀行にお申し出ください。
- 住所変更、単元未満株式買取等のお申し出先
①証券会社の口座へ株式をお預けになられている株主様は、お取引のある証券会社にお申し出ください。
②証券会社の口座へ株式をお預けになられていない(特別口座に記録されている)株主様は、左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。

株主・投資家情報



「個人投資家の皆さまへ」では、事業内容や専門用語の解説、株式事務手続きなどの情報をまとめてご紹介しています。



三井金属

検索

<https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

BUSINESS REPORT

ビジネスレポート

第94期報告書
2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



三井金属鉱業株式会社

〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号

TEL:03-5437-8240



環境に配慮した FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。